

# 彼方「かなた」

校長通信

H25.2.25

Vol:43

【全校集会で伝えたかったこと！】

「みんなで落ち着いた学校をつくろう！」

今週末に千葉県公立高校の後期入試が行われます。

茨城県の公立高校の入試も含め、五十一名の三年生が挑戦します。進路実現は中学校三年生にとって大変大きな課題です。受験する本人が勉強したり、面接練習したりするのは当然のことですが、周りがどれだけ助け合えるかも大変重要です。三年生の各学年だけでなく、一、二年生も落ち着いた生活をし、みんなでバックアップしていかなければなりません。

四月に皆さんに「自分から考え、行動し、助け合える人になって欲しい」という願いから『自主貢献』という学校教育目標を掲げました。」という話をさせてもらいました。今こそその目標を意識して生活して欲しいのです。「自分には関係ない」ではなく、みんなを取り組んで欲しいのです。落ち着いた学校生活を作り上げるために何ができるかを考えて欲しいのです。

先日、三年生の運動靴がなくなってしまいました。その日の休み時間や放課後も学級のみんで探しました。残念ながら見つかりませんでした。同じ学

級の仲間だからみんなでできることは何かを考え、話し合いました。「ピラをまこう！」「張り紙をしよう！」いろいろな意見が出されました。そして「各学級の帰りの会で話をして、訴えよう！」ということになり、話をしたそうです。

公立入試が最後のチャンス、勉強が分からなくて困っていた友達に、分かるまで説明し、一緒に練習し、最後まで付き合ってくれた仲間がいます。数学の計算問題も国語の漢字も全くできなかったのに少しずつ分かるようになりました。無事に合格したときはみんなで泣いていました。

学校は助け合うことを学ぶ場です。決していじめたり、戦ったりする場所ではありません。自分の良さを表現する場所なのです。世の中には厳しい現実が沢山待っています。それを乗り切るためにも学校の中で沢山生き方を学ばなければなりません。それには学校を安全で安心な場所にしなければなりません。落ち着いて勉強ができる場所にしていかなくてはならないのです。

三年生は後十五日で卒業です。一、二年生は、後十九日で修了式です。残りあとわずかですが、学校に、学年に、学級に落ち着いた雰囲気を作り出せるように取り組まねばなりません。それぞれの立場で今できることは何かを真剣に考えていきたいと思えます。

私ができることとして、昨日は、沢山の保護者の皆さんや地域の方々、関係機関の方々にお集まり頂き、臨時保護者会を開きました。その中で学校の問題点や皆さんの様子、学校の指導方針について話をさせてもらいました。そして、湖北中学校をもう一度落ち着いた学校にするために協力していただくようお願いをしました。学校だけでなく保護者の皆さんや地域の方々、関係機関の方々とは本当の意味で協力し、皆さんにとって学校が安全安心な場所になるようにしていきたいとの思いからです。

そこで皆さんにもお願いがあります。みなさんの挨拶は、本校を訪れた方々を元気にしてくれる挨拶です。月曜日から保護者の皆さん、民生委員さん、我孫子警察ボランティアの皆さん、自治会の皆さん等沢山の方々在校内、校外での見守り活動を行ってください。お願いの一つ目は、来校された皆さんを見かけたら何度でも心からの挨拶を交わして欲しいのです。お願いの二つ目は、各学級で楽しい学級づくりのために学年の最後にみんなで取り組むべきことを一つ決めて行動して欲しいのです。

真剣な訴えや思いを共有し、現状を改善するための具体的な行動が、変化を生みます。何もせずにそこに立ち止まってしまっただけでは、成功するはずありません。「成功」の反対は？ それは、「何もしないこと」です。失敗は成功に向けた通過点です。今こそ「自主貢献」できる生徒集団を目指して動き出しましょう！